

芸劇 ブランチ コンサート

～石田泰尚の玉手箱～

Tokyo Metropolitan Theatre Brunch Concert

2026年4月からリニューアルし、
神奈川フィル首席ソロ・コンサートマスターとして、
また「石田組」など多彩な活動で幅広い支持を集める
ヴァイオリニスト・石田泰尚を中心にお届けしている芸劇ブランチコンサート。
クラシックの枠にとらわれない自由な感性と情熱的な音楽で、
朝のひとときを華やかに彩ります。共演者も公演ごとに替わり、
まさに“玉手箱”のような驚きと感動を届けます。
朝11時からの約1時間、東京芸術劇場コンサートホールを舞台に、
石田泰尚と共に豊かに楽しみください。



©Norizumi Kitada Universal Music



©Mariko Tagashira

第56回 「トリオ・ジャパン」

2026年 10月13日(火) 出演者: トリオ・ジャパン(ピアノ三重奏)
石田泰尚(Vn) 西谷牧人(Vc) 佐藤卓史(Pf)
メンデルスゾーン: ピアノ三重奏曲第1番
ピアノ三重奏曲第2番



第57回 「石田泰尚、三浦一馬、山田武彦トリオ」

2026年 12月15日(火) 出演者: 石田泰尚(Vn) 三浦一馬(バンドネオン) 山田武彦(Pf)
J.S.バッハ=グノー: アヴェ・マリア ドヴォルザーク: 4つのロマンティックな小品
ウィリアムズ: シンドラーのリスト テーマ ガルデル: 首の差で ほか



©木下雄介

©Taira,Tairadate

第58回 「石田泰尚 & 實川 風 Vol.2」

2027年 2月24日(水) 出演者: 石田泰尚(Vn) 實川 風(Pf)
ドヴォルザーク: 4つのロマンティックな小品、ソナチネop.100 クライスラー: ドヴォルザークの主題によるスラヴ幻想曲
ドヴォルザーク: ユーモレスク(ピアノソロ) スメタナ: 我が故郷より

各回11:00開演(10:30開場) 全席指定: 3,000円(各回・税込)
東京芸術劇場コンサートホール

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 JR、東京メトロ、東武鉄道、西武鉄道「池袋駅」西口徒歩2分。(池袋駅地下2b出口直結)

主催: MIYAZAWA & Co. 提携: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

本公演は5歳以上の方の入場が可能です。但し、お席は必要です(4歳以下入場不可)

託児サービス「株式会社明日香」 申込・問合せ: 0120-165-115
(有料・定員制・要事前申込) (土・日・祝祭日を除く平日9:00～17:00)

お問い合わせ サンライズプロモーション(チケットの取扱いはありません)
0570-00-3337 (平日12:00～15:00)

公演情報は MIYAZAWA&Co. 検索 YouTube

先行発売
(3公演同時発売)

■ MIYAZAWA&Co. 主催者先行発売
2026年6月23日(火) 10:15～



■ 芸劇メンバーズWEB先着先行
■ チケットぴあ独占先行
2026年7月18日(土) 10:00～

■ プレイガイド先行
2026年7月28日(火) 10:00～

チケット一般発売日

2026年8月8日(土)
10:00～発売開始
(3公演同時発売)

■ チケット取扱

MIYAZAWA&Co. (登録無料) <https://www.funity.jp/tickets/miyazawac/showlist> miyazawa&co. チケット 検索
東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10:00～19:00) <https://www.geigeki.jp/t/>
チケットぴあ <https://t.pia.jp/> ローソンチケット <https://l-tike.com/> イープラス <https://eplus.jp/>

各回の
聴きどころ第56回
10/13公演

孤高のヴァイオリン・石田泰尚、歌うチェロ・西谷牧人、知性と情熱を兼ね備えたピアノ・佐藤卓史。クラシック界を牽引する実力派の3人が結成した新ピアノトリオが、メンデルスゾーンの傑作2作品に挑みます。

第57回
12/15公演

鋭さと艶を併せ持つ石田泰尚のヴァイオリン、三浦一馬の情熱的なバンドネオン、山田武彦の色彩豊かなピアノ。クラシック、映画音楽、タンゴの名曲が、3人の個性によって鮮烈に生まれ変わる、ジャンルを超えて心を揺さぶる濃密なトリオ・ステージをお届けします。

第58回
2/24公演

2026年度最後は初回と同じく石田泰尚と實川風で締めます。民族色豊かなドヴォルザーク作品を中心に、スメタナ「我が故郷より」まで、郷愁と情熱に満ちた名曲を披露。石田泰尚の鋭くも歌心あふれるヴァイオリンと、實川風の繊細かつ色彩豊かなピアノが響き合い、東欧音楽の魅力を鮮やかに描き出します。

全公演出演

石田泰尚 (ヴァイオリン)
Yasunao Ishida (Violin)

©Norizumi Kitada Universal Music

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川フィルの顔」となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。自身がプロデュースした男性奏者のみの弦楽アンサンブル「石田組」など、様々なユニットでも独特の輝きを見せる。録音も多く石田組デビューアルバム「THE石田組」、ソロライブアルバム第3弾となる「Mozart Live」はレコード芸術誌上で特選盤の評価を得た。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送される熱いステージの様子は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスター(2025年4月よりソロ・コンサートマスター)を兼任。使用楽器は1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。

Trio Japan (トリオ・ジャパン)

クラシック界の中心核となるソリスト3名による新しいトリオ。神奈川フィル首席ソロ・コンサートマスター、ソリストとして不動の人気を誇る石田泰尚、東京交響楽団首席チェロ奏者としての活動を経てソリストとして活動している西谷牧人、シュベルト国際コンクール第1位のほか、室内楽、作編曲など幅広く活躍する佐藤卓史。キャラクターは異なれど実力があり人気を博しているアーティストによる新ピアノトリオ。



©Mariko Tagashira

西谷牧人 (チェロ)

Makito Nishiya (Violoncello)

奈良県出身。東京藝術大学及び大学院を修了後、米国インディアナ大学にて研鑽を積む。これまでに河野文昭、菊地知也、堤剛、ヤーン・シュタルケルの各氏に師事。2005年帰国し、佐渡裕氏率いる兵庫芸術文化センター管弦楽団に創設メンバーとして在籍(～2008年)。大谷康子弦楽四重奏団、小松亮太タンゴ楽団、霧島国際音楽祭、硬派弦楽アンサン

ブル「石田組」、東京グランドソロイスツ、テレビ朝日「題名のない音楽会」などに出演、多岐にわたる演奏活動を行う。2015年自作自演演奏ユニット「清水西谷」を結成、全曲オリジナル作品による「KODO」にてCDデビュー。2013年度青山音楽賞受賞。2008～2016年東京藝術大学非常勤講師、2008～2019年まで東京交響楽団首席チェロ奏者を務めた。現在はバツハからジャズ、タンゴ、自作自演までジャンルを超えた演奏活動を展開している。2021年より愛知県立芸術大学非常勤講師。2022年6月ソロアルバム「STORY」をリリース。



©Mariko Tagashira

佐藤卓史 (ピアノ)

Takashi Sato (Piano)

秋田市出身。高校在学中の2001年、日本音楽コンクールで第1位。東京藝術大学を首席で卒業後渡欧、ハノーファー音楽演劇大学ならびにウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。2007年シュベルト国際コンクール第1位、2010年エリザベト王妃国際コンクール入賞、2011年カントウ国際コンクール第1位など受賞多数。ウィーン楽友協会をはじめとするヨーロッパの主要コンサートホールのほか、2011年にはシリア・ダマスカスのダール・アル・アサド文化芸術劇場でソロ・リサイタルを開催。これまでにNHK交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、シドニー交響楽団、ベルギー国立管弦楽団等と共演。2007年にソロデビューアルバム「ラ・カンパネラ～珠玉のピアノ小品集」(ナミ・レコード)をリリース以来、日本と欧州で多数のCDを発表。2014年より「佐藤卓史シュベルトツィクルス」を展開、ライフワークとしてシュベルトのピアノ曲全曲演奏に取り組み、室内楽、作編曲など幅広い分野で活躍している。



三浦一馬 (バンドネオン)

Kazuma Miura (Bandoneon)

2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、その後自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまで師事。2008年10月イタリアのカステルフィダルドで開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。2011年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、マルタ・アルゲリッチやユーリー・バシュメットら世界的名手と共演し、大きな話題と絶賛を呼んだ。2014年度出光音楽賞受賞。2017年ドイツにてドグマ・チェンパーオーケストラとマルコーニ作曲の「カーメ

ラタンゴス」で共演。また自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスツ」を新たに結成し、活動の場を拡げている。また、NHK大河ドラマ「青天を衝け」の大河紀行音楽演奏を担当、2024年には徹子の部屋出演。2022年日本コロムビアより三浦一馬五重奏団「ピアソラスタンダード&ビヨンド」2024年8月にバンドネオン・レジェンド～ベスト・オブ・ピアソラ&マルコーニをリリース。使用楽器は恩師ネストル・マルコーニより譲り受けた銘器、Alfred Arnold。



山田武彦 (ピアノ)

Takehiko Yamada (Piano)

東京藝術大学大学院作曲専攻修了。1993年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科に入学、同クラスの7種類の卒業公開試験を、審査員の満場一致により首席で一等賞を得て卒業。フランスの演奏団体である2e2m、L'itineraire、Triton2等でソリストとして演奏し、現代音楽の紹介を務める。またフランス北部のランス市において大戦後50周年記念式典のために、ヘブライ語による委嘱作品を発表。帰国後はピアニストとして数多くの演奏者と共演、的確でおおらかなアンサンブル、色彩豊かな音色などが好評を博し、コンサート、録音、放送等のソリストのパートナーとして厚い信頼を得る。最近では、三浦一馬キーンテート、東京グランド・ソロイスツ(TGS)などユニークなコンサートの企画にも参加している。東京藝術大学招聘教授を経て現在同大学ソルフェージュ分野主任、洗足学園音楽大学客員教授。



©Taira.Tairadate

實川風 (ピアノ)

Jitsukawa Kaoru (Piano)

幼少期より国内コンクールで数々の受賞を重ね、14歳でポーランド国立クラクフ管弦楽団と共演。2015年ロン・ティボー国際コンクール第3位(1位なし)、最優秀リサイタル賞・最優秀現代曲賞を受賞し、2016年カラーヨ国際ピアノコンクールでは第1位を獲得、イタリア各地でリサイタルを行う。近年はバツハ作品を演奏活動の中心に据え、チェンバロ演奏にも取り組むほか、2023年にはアルバム『Kaoru Jitsukawa plays BACH』をリリース。作曲家としても活動し、渋谷区委嘱作品を発表するなど幅広く活躍している。国内外主要オーケストラとの共演や国際音楽祭への出演を重ね、メディア出演も多数。東京藝術大学を首席卒業後、同大学院およびグラーツ芸術大学で研鑽を積み、2024年より東京藝術大学器楽科ピアノ専任講師。